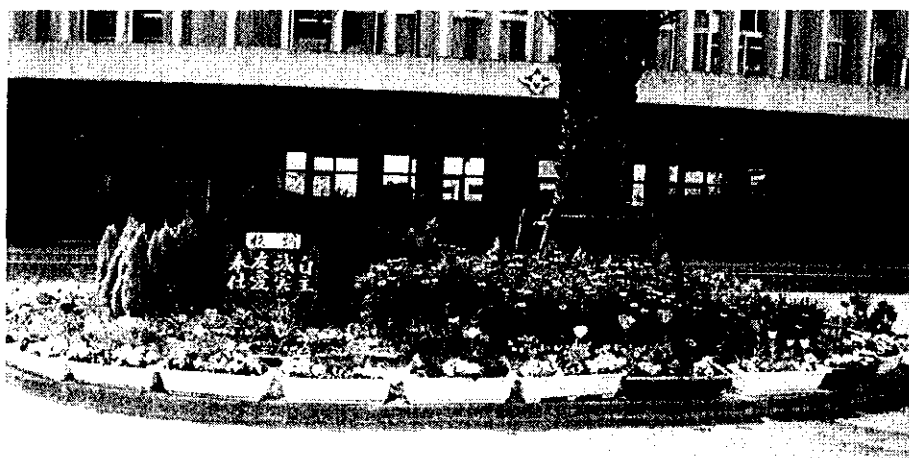
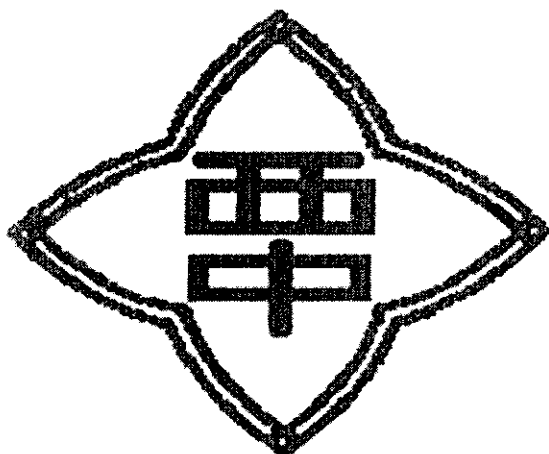


学習の手引き2019

大和高田市立高田西中学校

第3学年



はじめに



◎「学習の手引き」について

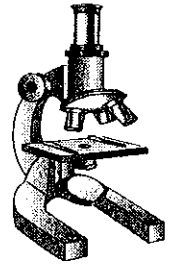
このような冊子をすべての学校で出しているものではありませんが、学校の教育活動に関する、各教科ごとのねらい（目標）や計画、授業の進め方、使用する教科書や副教材、評価のしかた、学習のしかたやアドバイスなどを、生徒や保護者のみなさんに示した説明書です。



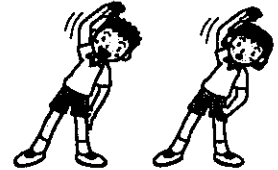
◎「学習の手引き」に示していること

「学習の手引き」には各教科で

- ① それぞれの教科が目標としている、ねらいは何だろう
- ② どんな学習がどんなふうに進んでいくのだろう
- ③ 家庭学習の進め方や、テストに向けた取り組み方のアドバイス
- ④ テストや授業でどんな力が育っているのかを見る方法について
- ⑤ 授業や学習方法全般へのアドバイス
- ⑥ 1年間のうちでどんな学習がいつごろ行われ、それぞれの時期にどんな力をつけていくのだろう



ということを書かれています。



◎「学習の手引き」を通して、みなさんの学習に期待すること

この「学習の手引き」を本棚に立てておいただけでは役には立ちません。

みなさんが、これらのアドバイスをもとに、自分の力を伸ばしていく手助けとなるように、つくった冊子です。

学校では主として、授業を通じて学習を進めます。けれども、自ら学ぼうとしないと、勉強したことは頭に入ってはきません。勉強したことを使わないと自らの力にはなりません。学習は身体全体を活用することが大切です。目と耳だけではなく、全身で集中して授業や家庭学習に取り組んでください。

たとえば、ある教科の学習で

- ・ 黙読だけでなく、何度も声に出して音読する
- ・ ただ読むだけでなく、線やマーカーを入れながら読む
- ・ 読んで分かってきた大切なところを何度も書いてみる
- ・ 分かってきたら、問題を解いてみる

が効果的である、と言われてています。



でも、自分でやってみないと効果があるか、自分にふさわしい方法かどうかは分かりません。この「学習の手引き」を活用し、自分流の脳の磨き方を獲得し、「他の動物にはできない、人間にだけ可能な『なりたい自分』の実現」を、ぜひ目指してください。

時期	学習内容（単元・章・節など）	目標（つけたい力）	指導の要点・評価事項など
10月	物語文③（読む） 慣用句・ことわざ・故事成語（言語） 漢字の造語力（言語）	時代背景を考えながら読み、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。	時代背景や登場人物の言動から、生き方について、自分の考えを深められたか。
11月	古文①（読む） 古文②（読む）	和歌の表現技巧や言葉の使い方をとらえ、和歌に描かれた思いや情景を読み味わう。 古文独特の表現や文体に注意して読み味わう。作者のものの見方や感じ方を読み取る。	表現や言葉の効果的な使い方をとらえ、和歌を読み味わうことができたか。 俳諧紀行文の表現や文体に注意して読み味わえたか。作者のものの見方や感じ方を読み取れたか。
12月	書写（書く） 自己アピール文を書く（書く） 「伝わる」表現②（話す・聞く） 文法2 文法のまとめ（言語）	全体の調和を意識しながら、楷書での書写をする。 学校生活を踏まえ、読み手に自分のことを正しく伝える文章を書く。 場の状況や相手の様子に応じて話す工夫を聞き取る。	全体の調和を意識しながら、楷書での書写ができたか。 書いた文章を読み合い、評価することで自分の表現に役立てられたか。 「伝わる」表現について考えることができたか。
1月	文学史（伝統的言語事項） 作文（読む 書く） 「伝わる」表現③（話す・聞く）	読み取った文章の内容や出題の意図・条件を読み取り、自分の意見を書く。 場の状況や相手の様子に応じて話す工夫を聞き取る。	原稿用紙の書き方に従い、表現の工夫をしながら作文できたか。 「伝わる」表現について考えることができたか。
2月	随筆（読む） 詩③（読む）	筆者の体験と、そこから導き出した考えを読み取る。 作者の思い、ものの見方や感じ方をとらえる。	時代背景や登場人物の行動と、筆者の主張をつなげて理解できたか。 詩の表現技巧を理解し、作者の思いをとらえられたか。

書写については、国語科指導の中でも適宜、指導します。（例）ノートの取り方、文字の整え方、漢字の書き取り、視写など。

平成 31 年度 第3学年 社会科 シラバス

1	週単位時間	4 時間	2 授業形態	学級単位の普通授業
3	使用教科書	中学社会 歴史的分野(日本文教出版)	中学社会 公民的分野(日本文教出版)	
4	副教材としての 使用教材など	歴史的分野・・・とうほう「ビジュアル歴史」 学宝社「学習の整理」 公民的分野・・・学宝社「学習の整理」		
5	この教科の学習 のねらい	社会に対する関心を高め、資料に基づいて考えたり、日本の国と歴史についての理解を深め、国際社会に生き、民主的で平和な国や社会をつくっていく上で必要な基本的な内容を身につけるようにする。		
6	授業の進め方	教室で一斉授業を行う。1学期までは歴史的分野を学習するが、2学期から公民的分野を学習する。公立高校入試前は入試対策テストを実施する予定である。		
7	家庭学習や課題 について	授業の予習として、教科書をしっかりと読んでおくこと。授業で習ったことを、ワークやノートを使い復習しておくこと。		
8	定期テストや評価の方法 について	1年間に5回の定期テストを行う(1学期は「中間」「期末」、2学期は「中間」「期末」、3学期は「期末」)。定期テストだけでなく、課題やノートなどの提出や授業の様子なども評価の対象とする。		
9	授業や学習に対するアド バイス	授業の準備物や提出物など忘れ物がないようにし、授業に集中することがもっとも基本であり大切である。授業で学習することに関連する内容、新たな発見などが新聞やテレビのニュースとして伝えられることが多いので、日常的に社会に関することについて関心をもってほしい。学習内容のうちで基本的なものは、繰り返し出てくることが多いので、しっかり理解しておくことが必要である。		
10	年間の学習事項と評価			
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)		指導の要点・評価事項など
4月	第3節 近代国家へのあゆみ	○新政府の改革の特色を考え、明治維新によって近代国家の基礎が整えられたことや、人々の生活が大きく変化したことを理解することができる。		・欧米諸国における近代社会の成立とアジアへの進出、日本の開国とその影響、明治維新以降の日本の近代国家の形成、日清・日露戦争や条約改正による国際的地位の向上、近代産業の発展と近代文化の形成、近代化の過程における人々の生活の大きな変化などについて課題を見いだし、多面的・多角的に考察し、公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。
5月	第4節 立憲制国家の成立	○立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日清・日露戦争、条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。		・日清・日露戦争における欧米諸国の利害関係や国内の様子、戦争の影響について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。
6月	第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き	○日本で近代産業が発展し、近代文化が形成された原因や、それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。		
6月	第6節 近代日本の社会と文化	○第一次世界大戦にかかわる世界の動きと日本の関連や、大戦後の国際平和に向けてどのような努力がなされたのかを考察することができる。		・第一次世界大戦前後の国際情勢や、戦争の状況および日本の動きを理解している。
6月	第2章 二度の世界大戦と日本	○大正デモクラシーの時期の政党政治の発達、民主主義思想の普及、社会運動の展開について調べることができる。		・日本の不景気と、東アジアでの民族運動の高まりのなかで、国内では国の進路をめぐる対立が激しくなっていたことを理解している。
6月	第1節 第一次世界大戦と戦後の世界	○軍部の台頭から第二次世界大戦までの経過と、第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解することができる。		・日中戦争の長期化によって、国民生活のすべてが戦争に動員される戦時体制がとられたことを理解している。
6月	第2節 大正デモクラシーの時代	○国際協調と国際平和の実現に努めることが大切であることに気付くことができる。		
6月	第3節 世界恐慌と中国との戦争	○大戦後の諸改革の、日本の民主化と再建、国際社会への復帰などについて理解する。		
6月	第4節 第二次世界大戦と日本	○日本の経済や科学技術が急速に発展して、国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解する。		・日本の技術革新による高度経済成長の様子やそのひずみとしての公害問題の発生について統一的理解している。
7月	第7章 現代の日本と世界	○現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などが見られ、それらが政治、経済、国際社会に影響を与えていることについて、また、現代社会における文化の意義や影響について理解する。		・グローバル化、情報化、少子高齢化が、互いに関連し合いながら、政治、経済、国際関係に影響を与えていることに気付いている。
9月	戦後日本の発展と国際社会 新たな時代の日本と世界	○日本国憲法の基本原理(基本的人権の尊重・国民主権・平和主義)を、社会の形成者としての立場から具体的な生活とのかかりを通して理解させ、個人の尊厳と両性の本質的平等、自由・権利と責任・義務の関係が社会生活の基本となっていることに気付くことができる。		・人間尊重の考え方、社会生活における法の意義と法に基づく政治の重要性、日本国憲法の基本原理(基本的人権の尊重・国民主権・平和主義)、天皇の地位と国事行為について理解している。
9月	第1章わたしたちの生活と現代社会	○国会を中心とする日本の民主政治の仕組みのあらましや地方自治の基本的な考え方について理解させる。同時に、法の意義や法に基づく公正な裁判の保障について理解する。		・国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主権者・地域住民の立場から理解し、その知識を身に付けている。
9月	現代社会とわたしたちの生活	○経済活動が、人間生活の維持・向上のために欠かすことのできないものであることを、身近な消費生活を通して理解する。		・社会資本の整備や社会保障の充実など、国民の生活と福祉の向上のために国や地方公共団体が果たしている役割を理解し、その知識を身に付けている。
9月	わたしたちの生活と文化	○国民の生活と福祉の向上を図るために、市場の働きにゆだねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たしている役割に気付かせ、財源の確保と配分という観点から財政の役割について考えることができる。		・経済活動に伴う環境汚染や自然破壊の問題について理解し、それに対して政府、企業、個人などの様々なレベルで取り組むことの重要性を理解している。
10月	現代社会の見方や考え方	○国際的な相互依存関係の深まりの中で世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国国民が協力し合うことが重要であることを認識することができる。		・世界平和の実現と人類の福祉の増大にかかわって、国家間の相互の主権の尊重、各国国民の相互理解と協力の大切さについて理解している。
10月	第2章 人間の尊重と日本国憲法	○持続可能な社会を形成するために、自分たちに何ができるかを考えさせることを通して、社会参画するための手がかりを得ることができる。		・持続可能な社会の形成に向け社会参画するにあたり、自然と環境、人権と平和、医療と保健などのテーマに関連した知識が基礎となることを理解するとともに、それらの知識を身に付けている。
10月	人権と日本国憲法			
10月	人権と共生社会			
10月	これからの人権保障			
11月	3章 現代の民主政治と社会			
11月	現代の民主政治			
11月	国の政治のしくみ			
11月	地方の政治と自治			
12月	第4章 わたしたちのくらしと経済			
12月	くらしと経済			
12月	生産と労働			
1月	価格の働きと金融			
1月	国民生活と福祉			
2月	第5章 地域社会とわたしたち			
2月	国際社会と世界平和			
2月	国際問題とわたしたち			
3月	終章 よりよい社会をめざして			

平成31年度 第3学年 数学科 シラバス

1	週単位時間	4 時間	2	授業形態	学級単位の一斉授業
3	使用教科書	数研出版「中学校数学3」			
4	副教材としての 使用教材など	正進社 数学の学習ノート3年			
5	この教科の学習 のねらい	様々な視点から物事を見つめ、論理的な考えに基づき、よりの確な方法でよりスムーズに問題解決できる力を身につけることを目指します。			
6	授業の進め方	1, 2年生での既習の内容を思い出しながら、さらに発展的な内容について学習していきます。授業の進め方は、基本的には講義方式ですが、内容によっては体験的な学習を通して、数学の楽しさを実感してもらいます。			
7	家庭学習や課題 について	副教材として用いるワークを、自分のペースでかまわないので、家庭学習に使ってください。また、授業の中で学習したことをふまえて、問題演習の宿題が出されることもあるので、出された宿題はその日のうちにきちんとこなし、力の定着に努めましょう。夏休み等の長期休業には、サマーワーク等の宿題が出され、学期ごとの総復習をしてもらいます。長期休業明けには課題テストを行います。			
8	定期テストや評価 の方法について	4つの観点で評価をします。 ○関心・意欲・態度・・・板書ノート、ワークの評価、出席点、忘れ物点 ○見方・考え方・・・定期テストにおいて、見方・考え方を問う問題を出題し、その点数で評価します。 ○数学的な技能・・・その単元での基本的な計算等について、定期テストで問います。 ○知識・理解・・・その単元において必要な知識やそれについての理解力を定期テストで問います。			
9	授業や学習に対 するアドバイス	教科書・ノート・ワーク(コンパス・直定規)などの準備物を忘れず、意欲的に授業に臨みましょう。説明を身体全体で聞き、意味をとりえ、宿題や復習など家庭学習を充実させましょう。毎日繰り返し計算練習や問題を解くことが効果的です。とにかく毎日少しでも数学に触れることが大切です。わからないことは遠慮なく質問し、確実に理解していきましょう。			
10	年間の学習事項と評価				
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)		指導の要点・評価事項など	
4月	ガイダンス 多項式の計算 因数分解	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の学習方法や授業の進め方など、シラバスの内容を知る。 ・単項式と多項式の乗法、多項式÷単項式の除法の計算ができる。 ・一次式の乗法、展開ができる。 ・簡単な一次式の因数分解ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科のねらい、評価の仕方、大切にしたいことについての説明。 ・これまでの学習をふり振り返りながら、展開の意味へとつなげる。 ・公式を使った展開に習熟する。 ・展開の公式を用いた因数分解に慣れ、どの公式を使うか判断する力を高める。 	
5月	式の計算の利用 素因数分解 平方根	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いた式による数量関係を説明することができる。 ・因数、素数、素因数の意味を理解し、素因数分解をすることができる。 ・平方根の考え方に触れ、意味と必要性を理解し、数の概念を広げ、数に対する考え方を深めることができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・1,2年の学習をふり振り返りながら、文字を使った数量関係の説明を深める。 ・理解した素因数分解の考え方を具体的な問題を通して活用する。 ・平方根、$\sqrt{\quad}$、有理数と無理数、素数、因数、素因数分解などのことばの意味と概念をうまく整理する。 	
6月	根号を含む式の計算 2次方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・$\sqrt{\quad}$を含む数について、その性質や計算方法を理解し、確実に計算ができる。 ・具体的場面で平方根を用いた処理ができる。 ・2次方程式の必要性和解の意味が理解できる。 ・因数分解や平方の形に変形することによる2次方程式の解法ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・文字式の計算と関連づけながら、計算方法を理解し、習熟する。 ・理解した平方根の考え方を具体的な問題を通して活用する。 ・2次方程式の考え方を要する問題に触れ、その意味と解について理解する。 ・2次方程式を解くために因数分解や平方根の考え方が役立つことを知り、適切な方法を習熟する。 	
7月		<ul style="list-style-type: none"> ・解の公式を用いた2次方程式の解法ができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・中学校で扱うことになった学習内容。解の公式が有用であることを学ぶ。 	

時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つきたい力)	指導の要点・評価事項など
9月	2次方程式の利用 関数 $y = ax^2$	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式を具体的場面で活用できる。 ・関数 $y = ax^2$ の事象について理解し、考察することができる。 ・関数 $y = ax^2$ とそのグラフの特徴を理解し、表現することができる。 ・関数 $y = ax^2$ を用いた具体的な事象について説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2次方程式の具体的な問題で、立式や解が便利であることを学ぶ。 ・1,2年の関数ではなかった2乗に比例する事象を通して、その関係を明らかにする。 ・グラフを検証し、放物線についてその特徴を考察する。 ・身のまわりにある関数 $y = ax^2$ の関係について、考察を深める。
10月	いろいろな関数 相似な図形	<ul style="list-style-type: none"> ・いろいろな事象や関数について考えを深める。 ・図形の相似の意味をとらえ、三角形の相似条件を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの関数以外の関係について学び、関数の考え方を整理する。 ・合同と対比させて相似についての考え方をつかみ、表現力も養う。
11月	平行線と線分の比 面積の比, 体積の比	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の相似条件を用いて、図形の証明を進めることができる。 ・平行線と線分の比について理解し、線分の長さを求めることができる。 ・相似な図形の面積比と体積比について理解し、これらを利用して面積や体積を求めることができる。 ・相似な図形の性質を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件との比較を交え、図形の証明について学び直しを進めつつ、具体的な問題に慣れる。 ・三角形の相似から平行線と線分の比の関係を理解し、線分の長さを求める問題に習熟する。 ・高校から戻ってきた内容で、相似な図形では面積比や体積比が相似比とどう関係しているのかつかみ、面積や体積の実際的な問題に取り組む。 ・平面図形や立体について相似な図形の性質を利用して考察を深める。
12月	円	<ul style="list-style-type: none"> ・円周角と中心角の関係について理解し、証明することができる。 ・円周角と中心角の関係を活用することができる。また円周角の定理の逆について理解する事ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中2で紹介したこの学習内容について証明を用いてその関係をつかむ。 ・円周角の定理やその逆を用いて、様々な問題について角度を求めたり、見方考え方を深めたりする。
1月	三平方の定理 三平方の定理の応用	<ul style="list-style-type: none"> ・三平方の定理の意味を理解し、証明することができる。 ・三平方の定理を活用して、様々な距離や線分の長さを求めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直角三角形の直角と辺の長さについて、歴史的な話とともに数学的な美しさについて考察を深める。 ・平面図形や空間図形に直角三角形を見いだすことで、線分や辺の長さを求めることができることを活用する見方を養う。
2月	母集団と標本	<ul style="list-style-type: none"> ・標本調査の必要性和意味を理解することができる。 ・標本調査による母集団の傾向についてプレゼン形式で説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会に関連する様々な調査や傾向の調べ方について学ぶ。 ・数学で学んだ相似の考え方を活用し、社会的な物事に対して見方、考え方を広げていく。
3月	3年間の復習	<ul style="list-style-type: none"> ・入試に向けた総合的な問題練習や複合問題などに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の学習の総まとめや苦手な部分を再度学び直す機会をもち、入学試験でも筋道をたてて考える姿勢を大切にできる力を養う。

平成 31 年度 第 3 学年 理科 シラバス

1	週単位時間	4 時間	2 授業形態	全体授業
3	使用教科書	東京書籍「新編 新しい科学 3」		
4	副教材としての 使用教材など	中学理科ノート3年(正進社) ダブルトライ理科の学習3年(とうほう)・カラーブック理科資料(とうほう)など		
5	この教科の学習 のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ●身のまわりの自然に興味をもち、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に調べる方法や技術を身につける。 ●自然のことがら・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 		
6	授業の進め方	・普通は教室での全体授業を行います。実験・観察を行う場合は、理科室で4～5人のグループで行い、終了後にはノートやレポートの提出を求められることもあります。		
7	家庭学習や課題 について	・授業のあった日には、家に帰って授業ノートの見直しや問題ページの復習を行い、分からないところがあれば早めに質問して理解するようにしましょう。また、宿題や課題はその日のうちにやり、期限に遅れず提出すること。ワーク(ダブルトライ理科の学習)についても、日々とりくみ、問題練習しましょう。ワークの別冊は解答用紙集になっており、テスト前などに再度問題練習することもできます。さらに余裕のある人は、自分に合った問題集を一冊購入し、復習や入試問題練習をするとよいでしょう。		
8	定期テストや評価 の方法について	・1年間に5回の定期テストを行います。各テストでは「実験観察の技能・表現が身についているか」「科学的に物事を考えられるか」「科学に関しての知識が身についているか」を中心に評価をします。また、実験観察への取組・レポートの作成、各種小テスト、課題提出とその内容、授業でのようすなども評価の対象となります。		
9	授業や学習に対 するアドバイス	・重要な語句、実験器具の名前や扱い方などはくり返し出てきます。必ず覚えてください。物事には必ず理由があるので、まわりのことと関連づけて考えたり覚えると良いでしょう。考えをより深めるためにも、身近な自然や現象、社会の動きに注意をはらっておいてください。授業中は考えたことを手をあげて積極的に発言し、互いに交流してください。		
10	年間の学習事項と評価			
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つきたい力)	指導の要点・評価事項など	
4月	生命の連続性 1章 生物の成長と生殖	・生物の成長を細胞分裂と関連づけてとらえる。	・体細胞分裂のしくみや染色体について理解する。	
5月	2章 生物のふえ方と遺伝	・無性生殖と有性生殖について、その特徴や形質・遺伝について理解する。 ・核内にある遺伝子の存在を知り、遺伝の規則性をメンデルの実験を通して理解する。	・体細胞分裂と減数分裂の違いや染色体のはたらきが分かる。 ・有性生殖では、生殖細胞が必要であり両親から遺伝子を受けつぐことが分かる。 ・世代による形質の伝わり方と現れ方に規則性があることを知り、記号などを用いながら自分で予想説明できるようになる。	
6月	化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	・水に電流が流れにくいことを知り、物質をとかした水溶液になぜ電流が流れるかを理解する。 ・原子がイオンになる理由を理解する。また、どのような状況で陰イオンと陽イオンになるのかの説明を受けながら、原子ごとにイオンになる上で規則性があることを知る。	・電解質の水溶液に電流が流れるのはなぜかを考え予想する。塩酸のモデルを用いて陽イオン、陰イオンの電気を帯びた原子について説明できる。 ・原子の構造をモデル図などを見ながら説明を受け、電子の移動によるイオンの発生がわかっている。	
7月	2章 化学変化と電池 3章 酸、アルカリとイオン	・電池のしくみはどうなっているのかを学び、イオンとの関連性を考えながら電流の取り出し方を説明できるようにする。 ・酸、アルカリの水溶液に共通な性質を理解し、原因になるイオンの導き方と代表的な電離を確認する。	・電池の電極で起こる化学変化の説明ができる。2枚の金属電極での電子のやりとりを理解し、陽極・陰極になる理由を説明できる。 ・酸、アルカリの水溶液に共通な性質を説明でき、原因になるイオンの導き方がわかる。また、代表的な電離を説明できる。	
9月	運動とエネルギー 1章 物体のいろいろな運動 2章 力と物体の運動	・酸とアルカリは、互いの性質を打ち消し合うことを理解し、中和、塩とは何かを理解する。 ・物体の運動の観察や実験を行い、運動には速さと向きがあることや物体の運動を記録する方法を理解する。 ・いろいろな台車の運動を考え「速さと時間」のグラフを作成することで力と速さの変化の関係を理解する。 ・物体に力がはたらく運動及び力がはたらかない運動についての観察、実験を行い、それぞれの運動の特徴を理解する。	・中和、塩をイオンの観点から説明できる。 ・記録タイマーを正しく操作することができるとともに、記録タイマーを用いて台車の運動を記録し結果をグラフなどにまとめることができる。 ・台車を使った運動の実験を実施でき、そのデータをグラフ化し、関係を読みとることができる。 ・運動の向きと同じ向きや逆向きに力がはたらくときの速さの変化や移動距離の関係が分かっている。	

時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つきたい力)	指導の要点・評価事項など
10月	2章 力の規則性	<ul style="list-style-type: none"> 物体に外から力が作用しない限り、運動している物体は等速直線運動を続け、静止している物体は静止することを理解する。 2力がつり合うときの条件や2力の合成、分解のしかたを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動や慣性の法則、慣性について分かっている。 2力がつりあう条件が分かっている。また、2力の合成、分解が求められる。
	3章 仕事とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーとはどのようなものなのかを理解する。また、摩擦や空気抵抗がなければ力学的エネルギーは常に一定に保たれることを見いだす。 仕事の量の計算式を知る。また、それを利用してまさつに逆らって物体を動かしたときの仕事量の計算などを行う。 仕事の原理を理解し、動滑車や斜面などの道具を使用したときの仕事の量を計算する。その際、全体の仕事の量は変わらないことを理解する。 仕事の能率を学び、機械や道具を使うと仕事の能率が上がることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 位置エネルギーと運動エネルギーが移り変わるときに、力学的エネルギーが保存されることが分かっている。 仕事の量の計算式を場面に合わせて利用できる。 計算式を利用して、それぞれの場面での力と距離の関係に気づくことができる。また、様々な道具の利点を理解できる。 仕事の能率の大切さを理解し、仕事率の計算式と単位(ワット)についての電流がする仕事率との関連性が理解できる。
	4章 エネルギーと仕事	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーに関する実験や体験を日常生活と関連付け、エネルギーにはいろいろな姿があり、それらが互いに移り変わることを理解する。 エネルギーは相互に変換されるがエネルギーの総量が保存されること。また、エネルギーの変換効率は差があること。熱の伝わり方の3通りを さまざまなエネルギー資源の獲得や消費による自然環境の変化、科学技術の進歩による人間生活の変化とエネルギー消費の増大などの関係を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活のなかの現象を、エネルギーの移り変わりから考えられる。 エネルギーの移り変わりの前後で、エネルギーが保存されていること。また、エネルギーの変換、熱の伝わり方が分かっている。 おもなエネルギー資源の特徴や活用にもなう環境上の問題点が分かっている。また、エネルギーを効率的に利用する方法が分かっている。
	11月	地球と宇宙 1章 宇宙の広がり	<ul style="list-style-type: none"> 天体の日周運動が、地球の自転による相対的な運動であることを理解する。 星の観察などから、惑星と恒星の違いに気付くとともに、惑星の大きさや表面の様子の特徴を理解する。
12月	2章 地球の運動と天体の動き	<ul style="list-style-type: none"> 季節によって星座の位置が変わることや、昼夜の長さや太陽高度変化を、地球の公転や地軸の傾きと関連してとらえる。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の公転運動と季節が生じる理由を関連付けて説明できる。
	3章 月と惑星の見え方	<ul style="list-style-type: none"> 月がどのように運動し、観測者に対する位置により見え方がどのように変化するか確認する。 外惑星や内惑星の動きの観察資料から、太陽を中心に公転している惑星の位置関係や太陽系の構造及び空間的な広がりを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 地球の周りを公転する月の運動について図などを用いて説明をする。太陽の光を反射しているため見え方に変化が有ることに気づく。 内惑星、外惑星の違いや地球からの見え方について分かっている。
1月	地球と私たちの未来のために 1章 自然の中の生物	<ul style="list-style-type: none"> 植物、動物及び微生物を栄養摂取の面から相互に関連付けてとらえるとともに、自然界では、生物がつりあいを保って生活していることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 生物は互いに食物連鎖でつながっていて、物質は、いろいろな形で生物間を循環していることが分かっている。
2月 3月	2章 自然環境の調査と保全	<ul style="list-style-type: none"> 身近な自然環境について調べ、環境は自然界のつり合いの上に成り立っていることや環境を保全することの重要性を理解する。 日本の自然の特徴を理解し、自然災害を最小限に食い止める方法を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然界のつり合いを保つための重要性や自然環境を保全する方法を考えている。
	3章 自然の恵みと災害	<ul style="list-style-type: none"> 新しい科学技術を知り、科学技術の利用の功罪と環境との関わりを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本の自然との共生のあり方を考えることができる。 新しい科学技術のいくつかを示すことができ、環境問題と合わせて科学技術の利用を考えることができる。
	4章 科学技術と人間 終章 持続可能な社会をつくるために	<ul style="list-style-type: none"> 入試に向けた総合的な問題練習などに取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> 3年間の学習の総まとめをし、入試でも対応できる力を養う。

平成 31年度		第3学年		英語科 シラバス	
1	週単位時間	4時間	2	授業形態	学級単位の普通授業
3	使用教科書	東京書籍 「NEW HORIZON English Course 3」			
4	副教材としての使用教材など	E-PLUS 3(秀学社)			
5	この教科の学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深めさせる。 ・外国語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につける。 ・聞くことや話すことなど、実践的コミュニケーション能力の基礎を身につける。 			
6	学習方法	教科書を中心に、4技能(聞く・話す・読む・書く)の習得を念頭に学習活動を進める。随時ペアワーク等を取り入れ、対話能力の育成にも努める。また、ワークや自作プリントを活用し、基本文の定着を図るとともに、グループワーク等を生かし応用力・自己表現力をつける。			
7	家庭学習や課題について	毎日英語に触れることや反復学習が重要と考え、課題や宿題を与えるようにする。また、学習の習慣をつけるためにも、随時小テストなどを実施することで自分自身で課題を設定できるようにする。			
8	定期テストや評価の方法について	<p>評価については、授業態度・意欲、提出物や課題、定期テストや小テスト、スピーキングテストなどを総合的に考慮し評価する。</p> <p>定期テストは既習事項をもとに出題し、リスニング問題も入れ多岐にわたる観点を見るようにする。</p> <p>観点については、Ⅰ. コミュニケーションへの関心・意欲・態度 Ⅱ. 外国語表現の能力 Ⅲ. 外国語理解の能力 Ⅳ. 言語や文化についての知識・理解 の4項目を評価する。</p>			
9	授業や学習に対するアドバイス	毎時の授業を大切に、授業のなかで理解し定着するように心がける。そのためには、準備物を整え、意欲をもって授業に臨むことが大切である。また、復習を大事にし、毎日少しずつでも取り組むことが定着につながる。			
10	年間の学習事項と評価				
時期	学習内容(単元・章・節など)	学習内容		指導の要点・評価事項など	
4月	Unit 0 Unit 1	be going to 比較表現 There is [are] 受動態		受け身の肯定文・疑問文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。 SVOCの形・意味・用法を理解し、表現できる。	
5月	Daily Scene 1 Presentation 1 Unit 2	Would you like ~? 現在完了(継続の平叙文・疑問文と応答) 現在完了(been、継続用法)		ハワイ在住のマイリが自分の国の文化について書いたスピーチ原稿の内容を理解できる。 現在完了形(継続)の肯定文・疑問文と応答の形・意味・用法を理解し、表現できる。 現在形の文を現在完了の文に書き換えることができる。	
6月	Unit 2 Daily Scene 2 Unit 3 Daily Scene 3	現在完了形(経験用法) (完了用法) (継続用法) 不定詞(原因を表す) Would you like...?		アマゾンの熱帯雨林にどんな環境問題が起きているのか、知識を深める。 手紙の書き方について基本的な事項を理解し、英語で書くことができる。 現在完了形(経験・完了)の形・意味・用法を理解し、表現できる。 ガーナにおけるフェアトレードについて知識を深める。 不定詞の、原因を表す副詞的用法の形・意味・用法を理解し、表現できる。 人を誘ったり、提案したりすることができる。	

7月	まとめ練習 1 学び方コーナー 1 Presentation 2	既習事項の総復習	英語の文章の構成を意識し、論理的でまとまりのある文章を書くことができる。 スピーチ原稿を読んで、その内容を理解することができる。
9月	Let's Read 1 Unit 4	既習事項の総復習 how to… It is … for - to ~ want … to~	物語を読んで、場面の变化や登場人物の心情などを読み取ることができる。 疑問詞+不定詞(how to~)の形・意味・用法を理解し、表現できる。 It is … for - to ~の形・意味・用法を理解し、対話ができる。 want … to ~の形・意味・用法を理解し、表現できる。 自分や友達について、さまざまな情報をたずねたり伝えたりすることができる。
10月	Daily Scene 4 Unit 5 Daily Scen 5	SVOO(O=how to~) 現在・過去分詞後置修飾 間接疑問文 It is … for - to ~復習 want[tell]…to call ~	行き方を尋ねたり、応答したりすることができる。 不定詞「to +動詞の原形」の意味と使い方について復習し、理解を確かめる。 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形・意味・用法を理解し、表現できる。 間接疑問文の形・意味・用法を理解し、表現できる。 人やものについて情報を加えて説明することができる。 相手の意見を受けて自分の考えを述べながら、議論をすることができる。
11月	Unit 6 Daily Scene 6 まとめ練習 2 学び方コーナー 2	接触節 関係代名詞who 関係代名詞that(which) 主格, 目的格 疑問詞+不定詞(what to …)	詳しい情報を加えながら、知っている人やものについて、たずねたり伝えたりすることができる。 接触節の形・意味・用法を理解し、表現できる。 関係代名詞whoを用いた文の形・意味・用法を理解できる。 関係代名詞that[which](主格・目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解できる。 決められたテーマについて、賛成・反対などの自分の立場を明らかにし、理由を述べながらまとまりのあるレポートを書くことができる。 後ろから名詞を修飾する形について復習し、理解を確かめる。
12月	Presentation 3	Unit 6までの総復習	Unit 6までに学んだ表現を使って、自分の中学校生活について英文を書いて発表したり、友達の発表を聞いて質問し合ったりすることができる。
1月	Let's Read 2	既習事項の総復習	物語を読んで、場面の变化や主な内容を読み取ったり、登場人物の心情に合わせて気持ちを込めて音読しあったりすることができる。
2月 3月	Let's Read 3	既習事項の総復習	伝記を読んで、人物の生き方や思いを時系列に沿って整理しながら読み取ったり、自分の感想を添えながら本文の要約をしたりすることができる。

平成 30年度 第 3 学年 音楽科 シラバス

1	週単位時間	1 時間	2 授業形態	学級単位の普通授業
3	使用教科書	中学生の音楽2・3下、中学生の器楽 <教育芸術社>		
4	副教材としての使用教材など	音楽のワークブック 2・3年下 <奈良県中学校音楽教育研究会>		
5	この教科の学習のねらい	①音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味、関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。 ②音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技術を身につけ、創造的に表現する能力を育てる。 ③多様な音楽に興味、関心をもち、幅広く鑑賞する能力を育てる。		
6	授業の進め方	リコーダー実技演奏、歌唱実技の実践を核に鑑賞、音楽理論、芸能音楽等の学習を深めていく。		
7	家庭学習や課題について	・実技テストで歌う曲の歌詞、メロディーを覚えましょう。 ・実技テストで演奏するアルトリコーダーの曲を練習しましょう。		
8	定期テストや評価の方法について	定期考査100点 実技評価約160点（歌唱実技:70～90(学期によって変更) リコーダー実技:60～90(学期によって変更)）その他提出物、鑑賞記述等を観点別に評価し5段階判定を行う。 実技試験において病気、怪我等の考慮する事情がなく受験しない場合は最低評価とする。		
9	授業や学習に対するアドバイス	絶対に忘れ物をしないようにする。特にリコーダーを忘れると授業中なにもできません、注意しましょう。歌唱は大きな声でハッキリと歌えるようにがんばろう。		
10	年間の学習事項と評価			
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)	指導の要点・評価事項など	
4月 5月	「花」 リコーダー「大きな古時計」 音楽史 古代～ロマン派	歌詞の内容を理解し、強弱を生かした表現をさせる。 付点音符のリズム等の学習をさせる。 今までの運指を思い出し、しっかり演奏させる。 音楽の歴史における発生や発展のしかたを理解する。	大きな声で歌詞をハッキリと歌えているか。 滑らかに指が動き、演奏できているかどうか。 1～2年次での鑑賞項目における作曲家等がどの時代に属し、また音楽がどのように発展してきたか理解できたか。	
6月	「帰れ ソレントへ」 鑑賞「ブルタバ」 リコーダー実技試験 歌唱実技試験	イタリア語の歌詞で歌えるようにする。 内容表現等を工夫して歌える。 オーケストラの響きを感じる。 国民楽派について理解する。 1年～の音楽史について学習する。	イタリア語をハッキリと発音し、大きな声でうたえているか。 音楽を聴きながら情景を想像し、文章としてかけているかどうか。	
7月	「文化祭学年曲」 「文化祭クラス曲」	文化祭に向け意欲・技術を高める。	文化祭に向け意欲的に取り組んでいるか。	

9月 10月	「文化祭学年曲」 「文化祭クラス曲」	文化祭に向け意欲・技術を高める。 合唱・ハーモニーの楽しさを感じる。	自分のパートの音をしっかりとれているか。 大きな声で歌詞をハッキリと歌えているか。 協力して歌えているか。
11月	「文化祭学年曲」 「文化祭クラス曲」 歌唱実技試験 「ルールを守って音を楽しもう」	文化祭に向け意欲・技術を高める。 著作権について理解する。	文化祭当日一所懸命舞台上で歌えているか。 普段聞いている音楽などにおける権利などを正しく理解できるかどうか。
12月	国歌・校歌 卒業式歌	卒業式に向け歌詞を覚え大きな声で歌う。	卒業式に向け意欲的に取り組んでいるか。
1月 2月 3月	国歌・校歌 卒業式歌	卒業式に向け歌詞を覚え大きな声で歌う。	卒業式に向け意欲的に取り組んでいるか。

平成 31年度 第 3 学年 美術科 シラバス

1	週単位時間	1時間	2	授業形態	一斉授業
3	使用教科書	書籍 日本文教出版「美術 2・3上下」			
4	副教材としての使用教材など	秀学社「美術資料」 秀学社「レタリング字典」			
5	この教科の学習のねらい	①「美的, 造形的表現・想像」 ②文化・人間理解 ③心の教育			
6	授業の進め方	作業の準備物は早めに整えておくと, スムーズに内容に取りかかれます。まず一斉授業で説明をします。その後, ひとりひとり個別に対応してアドバイスし, 個性を活かした作品になるよう助言します。授業の最後に片づけタイムがあります。			
7	家庭学習や課題について	課題の「テーマ」を良く把握して制作しましょう。授業以外でもアイデアを練ったり, 個人的に資料を集めることが, 表現を豊かにしたり, すばらしい作品制作につながります。完成・提出期限を守りましょう。			
8	定期テストや評価の方法について	関心・意欲・態度は, 授業の取り組みの集中度・作品の完成度・準備物(忘れ物がないように)。発想・構想の能力は, アイデアスケッチや作品の構成・構図・配色構想・技法活用の工夫など。創造的な技能は, 具体的な技能(彩色・制作技術など)。鑑賞の能力は, 期末テスト・授業プリント・制作記録など。			
9	授業や学習に対するアドバイス	週に1回の授業なので準備物は絶対に忘れないこと。アイデアを考えたり構想を練る時間がとても大切ですが, やみくもに考えてもいい発想は出てきません。普段からポスターや雑誌の表紙や, 新聞など身の回りのいろいろなことから感覚を磨くことが大事です。芸術家の作品から学ぶこともできます。自分たちの周りにあるいろいろなデザインなどからも学べます。また, 自然は最高の芸術です。自然の観察から学べるものも多いです。観察・好奇心・そして, まず表現してみる事が大事です。頭の中だけで考えないで何でもまず形を表現して少しずつ改良して作品を作っていきましょう。			
10	年間の学習事項と評価				
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)		指導の要点・評価事項など	
4月	オリエンテーション 「平和を願う」ポスター制作	<ul style="list-style-type: none"> 心構えや取り組みの確認 様々な技法(モダンテクニック)を知り制作にいかす。 表現の多様性に触れる 伝えたい内容を効果的に表現する 		<ul style="list-style-type: none"> 画面構成の美しさの表現ができたか レタリングの表現する モダンテクニックを効果的に工夫してできたか 	
5月 ～ 7月	思い出アルバムのデザイン	<ul style="list-style-type: none"> 沖縄への平和学習に向けて考える 色について, 配色について, レタリングについてとデザインの基礎的な技法を再確認する。 		<ul style="list-style-type: none"> 独創的な表現の工夫ができたか 明朝体, ゴシック体の特徴をつかみ, 美しくレタリングできる 画面構成の美しさの表現ができたか 独創的な表現の工夫ができたか 配色, 彩色の美しさを表せたか 	
9月	世界の美術(鑑賞) 透視図法の表現	<ul style="list-style-type: none"> 作品の中で作者の考えや主張の可能性を知る 様々な透視図法を知る 立体で表す工夫をする 		<ul style="list-style-type: none"> 印象派と日本のつながりについて理解する 立体表現や陰影表現の美しさの表現ができたか 表現の変化をいかに作品に表現でき 	
10月 ～ 12月	粘土、(食育)	<ul style="list-style-type: none"> 立体で表す工夫をする 食育の大切さを知る 形の表し方の表現 配色を工夫し、彩色する 美しく使いやすいデザインを考える 		<ul style="list-style-type: none"> 表現の変化、形の理解ができたか 形の見方、立体表現のための工夫を考えたか 美しく使いやすいデザインを考えたか 	
1月 ～ 3月	15歳の自画像 動くアニメ(パラパラマンガ)	<ul style="list-style-type: none"> 今の自分としっかり向き合う 鉛筆の表現の工夫 表現の多様性に触れる 動きを考えて、3秒の世界を表現す 		<ul style="list-style-type: none"> 美術における表現の多様性の理解 自己の内面性に問いかける 人物画の表現を理解する 独創性の表現ができたか 表現を工夫して作品にいかせたか 	

平成 31年度 第3学年 技術科 シラバス

1	週単位時間	1 時間	2 授業形態	一斉授業(教室)、実習(コンピュータ・第1技術室)
3	使用教科書	開隆堂「技術・家庭 技術分野」		
4	副教材としての使用教材など	実習教材 模型(クロックル)、(木工作品セット)、技術家庭ノート(技術分野)		
5	この教科の学習のねらい	ものをつくる技術について自ら考え、各種加工に必要な道具の使い方を体得するとともに、創意工夫・意欲関心・問題解決力・生きる力を培う。生活とコンピュータの関わりを知らせる。また、模型(クロックル)を使い、プログラムによる計測と制御を学習します。		
6	授業の進め方	第一技術室での実習授業が中心です。実習は5人1班で作業を行います。安全に作業を行う事を第一にします。「情報に関する技術」ではコンピュータ室での実習になります。プロジェクターで全体指導後、個別指導になります。		
7	家庭学習や課題について	情報に関する興味・意欲・関心を高めるため、実習内容や自分で調べた内容をレポート(プリント、ノート等に記入)にして提出してもらうことがあります。ノートも毎学期末に提出してもらいます。		
8	定期テストや評価の方法について	学期末に1回、1年間で2回の期末テストを実施し、基本的な内容が理解できているかを評価します(知識・理解)。またノートやレポート等の提出物で授業への意欲的な参加や内容の創意・工夫を評価します。実習作業を通して、意欲を持って作業しているか、作品の出来から創意・工夫と技能を評価します。		
9	授業や学習に対するアドバイス	授業では教科書・ノートなど忘れ物がないようにしましょう。実習では作業前の注意事項をしっかりと聞いて理解し、安全作業ができるようにしましょう。またみんなで協力して作業を行い、作業後の片付け等に積極的に取り組みましょう。失敗しても自分でよく考え、問題を解決する習慣と力を身につけましょう。		
10	年間の学習事項と評価			
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つきたい力)	指導の要点・評価事項など	
4月 5月 6月 7月	・木材等を用いた作品の製作実習	既習の木材の加工方法を生かして、作品を正確に作り上げる。 けがき・切断・やすりがけ・下穴あけ・くぎ打ち・検査と修正等ができる。	各作業の正確さ(けがき、切断、くぎ打ち、部品の直角度など)を評価する。 安全指導、整理整頓、室内美化の徹	
9月 10月 11月 12月	簡単なプログラミング(制御プログラミング)	情報を処理するためのプログラムの役割と仕組みを理解させる。目的のプログラムを作り、計画通りに実行できるようにする。	例題を解くにつれてフローチャートの理解も進み、その都度自分で確認しながら次のステップへ進む。	
1月 2月 3月	情報に関する技術と私たち	情報社会・環境との関わりを学び、これからどのように利用していけばいいか考えさせる。		

平成 31 年度 第 3 学年 家庭科		シラバス			
1 週単位時間	1 時間	2 授業形態	一斉授業(教室)、実習(被服室)		
3 使用教科書	開隆堂「技術・家庭 家庭分野」				
4 副教材としての使用教材など	技術・家庭ノート 家庭分野(ワーク)、実習の記録、裁縫道具				
5 この教科の学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎縫いが習得できる。 ・住まいのはたらきについて理解し健康で安全な住生活を送るにはどのような工夫が必要か考えていきましょう。 ・自分の成長を振り返りながら、幼児の発達の特徴と家族の役割を知り、家族関係をよりよいものにしましょう。 				
6 授業の進め方	学級教室での一斉授業が中心ですが、被服室で実習をする時は、6～7人の班で計画・実習をします。				
7 家庭学習や課題について	学校の授業だけでなく、家庭での衣・住・家庭生活に関わる仕事を実践することでより確かな力となります。実践内容や調べた内容をレポートにまとめて提出してもらうことがあります。取り組み状況は評価の対象になります。				
8 定期テストや評価の方法について	学期末に1回、1年間で2回の期末テストを実施し、基本的な内容が理解できているかを評価します(知識・理解)。またワークやレポート等の提出物で授業への意欲的な参加や内容の創意・工夫を評価します。				
9 授業や学習に対するアドバイス	準備物(教科書・ワーク)を忘れず、意欲的に取り組みましょう。また、学習したことを家庭の中で実践する習慣を付けましょう。				
10 年間の学習事項と評価					
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)	指導の要点・評価事項など		
4月	身近な消費生活と環境	・商品の選択と購入の流れについて知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した必要な商品を購入する際のプロセスが理解できたか。 ・いろいろな販売方法や支払い方法の特徴が理解できたか。 ・消費者の権利と責任が理解できたか。 ・自分の消費生活をふり振り返り、環境に配慮した消費生活の工夫をすることができたか。 		
5月		・販売方法や支払方法について知る。			
6月		・消費者保護について知り、生活に必要な商品の適切な購入と活用ができる。			
7月		・自分達の生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した生活が工夫できる。			
9月		・エプロンの製作		・本返し縫いや直線縫い、ボタン・スナップつけ・まつり縫いができたか。	
10月		わたしたちの住まい		・住まいのはたらきを理解する。	・気候風土や地域の特性に合わせた住まい方や住み方があることがわかったか。
11月				・住まいと家族のかかわりを理解する。	・家族構成やライフスタイルによって住み方が変わってくること、誰もが健康で安全な生活ができるようにするには、何が必要か理解できたか。
12月	・家族構成やライフスタイルによって住み方が変わってくること、誰もが健康で安全な生活ができるようにするには、何が必要か理解できたか。				
1月	・健康や安全を考えた住まい方を知る。				
2月					
3月					

平成 31年度 第 3学年 男子 保健体育科 シラバス

1	週単位時間	3 時間	2	授業形態	男女別修
3	使用教科書	新しい保健体育 東京書籍			
4	副教材としての 使用教材など	新中学保健体育の学習3(学研)			
5	この教科の学習 のねらい	積極的に運動に親しむ資質や能力の育成 健康の保持増進のための実践力の育成 体力の向上、及び心の成長の育成			
6	授業の進め方	体育実技は、男女別に行うことを基本としていますが、男女共修で行う単元もあります。 保健は、男女別、もしくは学級ごとに行います。 授業のはじめには、ラジオ体操第2とトレーニングを行い、体力の向上に取り組んでいます。			
7	家庭学習や課題 について	生涯にわたって健康を維持するために、毎日の生活に運動を取り入れていく工夫をしましょう。 長期休業には、体力向上のための自主トレーニング(パワーアップメニュー)があります。			
8	定期テストや評価 の方法について	関心・意欲・態度については、授業の出席、見学、遅刻、忘れ物や、授業での準備、片付けなど毎時間の授業への参加態度などから評価します。 思考・判断については、授業内で使用するプリントや、学習ノート、パワーアップメニューなど、提出物などから評価します。 技能については、実技の単元ごとに、実技テストを実施します。記録を測ったり、フォームを見たり、達成度を見たりと、いろいろな角度から運動技能を評価します。 知識理解については、学期に一度、定期テストをおこないます。			
9	授業や学習に対 するアドバイス	まず、欠席や見学がなく体操服で授業に参加することが大前提です。 見学についても、体操服が基本です。みんなと同じように授業に参加することができない場合も、できることを自分から積極的に行う姿勢をもってください。 頭髪・くつ・つめなど、安全に運動できるよう心がけましょう。			
10	年間の学習事項と評価				
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つきたい力)		指導の要点・評価事項など	
4月	体づくり運動	・自分の体力を知り、向上をめざす			
5月	新体カテスト 陸上競技(走高跳)	・踏み切り、空中局面、着地の基本を身につけ、発展させる ・個人に応じた種目に挑戦し、スキルアップを楽しむ		・体カテスト記録測定 ・タイム測定 ・実技テスト	
6月	水泳 バレーボール	・長く泳げるようにする ・仲間と連携して、作戦を立てるなどゲームをすることができる ・三段攻撃を理解し、協力して必要な練習ができる ・自分たちで審判やスコアをつけ、ゲームをおこなう		・実技テスト、タイム測定 ・実技テスト ・記録測定	
7月		保健 ・健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠などの調和のとれた生活習慣が必要なことを理解する		定期テスト	
9月	体育大会練習	・集団行動・体操・行進をきちんとおこなう			
10月	陸上競技 ソフトボール	・目標記録に挑戦したり、相手と競争したりして楽しむことができる ・基本的な技術を高め、ゲームを楽しむことができる ・仲間と連携して、作戦を立てるなどゲームをすることができる ・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身にさまざまな影響を与え、健康を損なう原因になることを理解する		・実技テスト ・記録測定	
11月	バスケットボール	・基本的な技術を高め、ゲームを楽しむことができる ・仲間と連携して、作戦を立てるなどゲームをすることができる		・実技テスト ・記録	
12月	長距離走	・持久力を伸ばし、長い距離を速く走れるようにする		・タイム測定 ・記録測定 ・定期テスト	
1月	サッカー	・基本的な技術を身につけ、ゲームの中で集団技能を組み立てる ・ルールを理解し、自分たちで協力してゲームをおこなう ・感染症の発病の条件と、その予防法について知り、免疫のしくみについて理解する		・実技テスト	
2月	レクリエーションスポーツ	・協力して種目を楽しむ		・安全に留意して協力しながら活動できているか ・定期テスト	
3月					

平成 31年度 第 3学年 女子 保健体育科 シラバス

1	週単位時間	3 時間	2	授業形態	男女別修
3	使用教科書	新しい保健体育 東京書籍			
4	副教材としての 使用教材など	新中学保健体育の学習3(学研)			
5	この教科の学習 のねらい	積極的に運動に親しむ資質や能力の育成 健康の保持増進のための実践力の育成 体力の向上、及び心の成長の育成			
6	授業の進め方	体育実技は、男女別に行うことを基本としていますが、男女共修で行う単元もあります。 保健は、男女別、もしくは学級ごとに行います。 授業のはじめには、ラジオ体操第2とトレーニングを行い、体力の向上に取り組んでいます。			
7	家庭学習や課題 について	生涯にわたって健康を維持するために、毎日の生活に運動を取り入れていく工夫をしましょう。 長期休業には、体力向上のための自主トレーニング(パワーアップメニュー)があります。			
8	定期テストや評価 の方法について	関心・意欲・態度については、授業の出席・見学・遅刻・忘れ物や、授業での準備・片付けなど毎時間の授業への参加態度などから評価します。 思考・判断については、授業内で使用するプリントや、学習ノート・パワーアップメニューなど、提出物などから評価します。 技能については、実技の単元ごとに、実技テストを実施します。記録を測ったり、フォームを見たり、達成度を見たりと、いろいろな角度から運動技能を評価します。 知識理解については、学期に一度、定期テストをおこないます。			
9	授業や学習に対 するアドバイス	まず、欠席や見学がなく体操服で授業に参加することが大前提です。 見学についても、体操服が基本です。みんなと同じように授業に参加することができない場合も、できることを自分から積極的に取り組む姿勢をもってください。 頭髪・くつ・つめなど、安全に運動できるよう心がけましょう。			
10	年間の学習事項と評価				
時期	学習内容(単元・章・節など)	目標(つけたい力)		指導の要点・評価事項など	
4月	体づくり運動	・自分の体力を知り、向上をめざす			
5月	新体力テスト バレーボール	・仲間と連携して、作戦を立てるなどゲームをすることができる ・三段攻撃を理解し、協力して必要な練習ができる ・自分たちで審判やスコアをつけ、ゲームをおこなう		・体力テスト記録測定 ・実技テスト ・記録測定	
6月	水泳 陸上競技(走高跳)	↑ 保健 ↓		・タイム測定 ・実技テスト	
7月		・長く泳げるようにする ・踏み切り、空中局面、着地の基本を身につけ、発展させる ・個人に応じた種目に挑戦し、スキルアップを楽しむ ・健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠などの調和のとれた生活習慣が必要なことを理解する		・定期テスト	
9月	体育大会練習 バドミントン	・集団行動・体操・行進をきちんとおこなう ・基本的な技能を高める ・ルールを理解し、ゲームができるようになる		・記録測定 ・実技テスト	
10月		↑ 保健 ↓			
11月	陸上競技(長距離走)	・喫煙、飲酒、薬物乱用などの行為は、心身にさまざまな影響を与え、健康を損なう原因になることを理解する ・持久力を伸ばし、長い距離を速く走れるようにする		・実技テスト ・タイム測定	
12月				・定期テスト	
1月	レクリエーションスポーツ	↑ 保健 ↓		・安全に留意して協力しながら活動できているか	
2月		・感染症の発病の条件と、その予防法について知り、免疫のしくみについて理解する		・定期テスト	
3月					